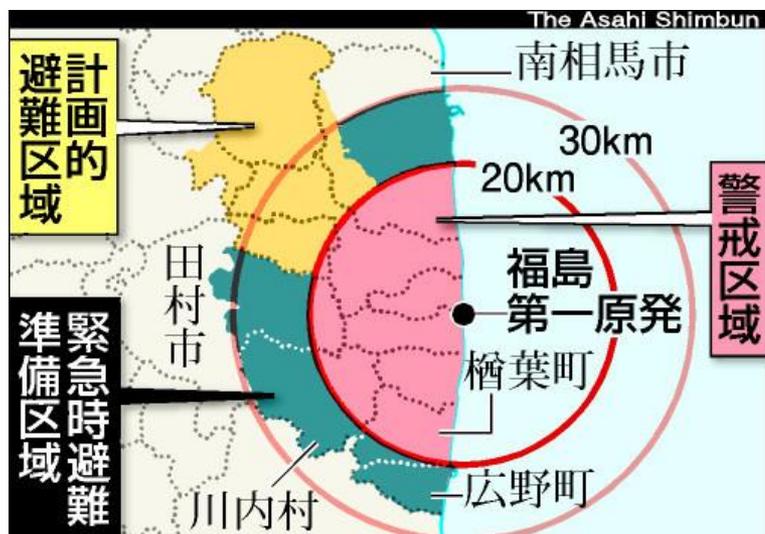


首都圏直下地震に備えは万全か

～ 被災したFPが考えたこれからの生活設計 ～

- 平成24年4月26日(木) 14:00～16:00
文京シビックホール 小ホール

自己紹介（緊急時避難準備区域とは）



■ 滞在条件

原発で緊急事態が発生したときに
自力で安全な場所へ避難する

- 自力避難が困難な子供たちは、
原則として滞在できない ⇒ **学校閉鎖**
- 車等で自力避難が可能な親たちは、
滞在が許される

■ 子育て家族の苦悩 ■

子供の基準『強制避難』に合わせた行動実態
親の基準『自主避難』に合わせた世間評価

本日の内容

■ 震災生活(地震後の生活)

- わが家の震災生活、4日間の歩み
- 正常時の安全と異常時の安全(津波避難の現実)
- 超異常時の安全に向けて(原発事故避難の現実)

■ 避難生活(原発事故後の生活)

- わが家の原発事故避難生活、6か月の歩み
- 避難生活、「衣・食・住」はどうしたか？
- 避難生活、「医・職・充」はどうしたか？
- 避難生活、生活防衛資金はいくら必要か？
- 避難生活、生活防衛資金をどう管理するか？
- 避難経験を活かす、これからの生活設計

わが家の震災生活、4日間の歩み

地震



3分

【備え】

■家屋

- 耐震設計

■家具

- 食器棚(引き戸)
- 家具(ツッパリ棒)

津波



30分

【備え】

■立地

- 海岸から5Km

サバイバル生活



1週間

【備え】

■水道光熱の分散

- ▲水道(ポリタンク、風呂)

- 電気(エアコン)

- ガス(コンロ、風呂)

- 石油(ストーブ)

■非常用

- カセットコンロ、七輪

15:36 1号機爆発

11:01 3号機爆発

6:10 4号機爆発

- 3/11 自宅待機(家族の帰宅待ち)、(水道→ポリタンク)
- 3/12 買出し(弁当・りんご・菓子・切餅・カップ麺) → **現金が必要**
- 3/13 屋内待機、飲水くみ(近所の湧水)
- 3/14 屋内待機、飲水くみ(近所の湧水)、避難準備
- 3/15 避難開始

正常時の安全と異常時の安全（津波避難の現実）

■ 車避難中、避難中のお年寄りと出くわす

- ・家族4人(車定員5名)で避難中
- ・年寄り2人が徒歩で避難

→ あなたはどうしますか？

■ 津波からの避難車、踏切で長蛇の列

- ・フェイルセーフ(遮断機は下りたまま)

→ あなたはどうしますか？

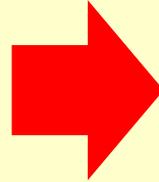


異常時の安全は、機転が勝負

超異常時の安全に向けて（原発事故避難の現実）

■ 避難時の制限 ■

- 避難場所が不明
- 道路状況が不明
- ガス切れで終了
- 事故れば終了



- 移動は昼間のみ
- 目的地は実家（東京）
- 移動期間は1週間

■ 避難時の持物 ■

【衣】着替え（1回分）

【医】救急箱、持病薬、保険証

【食】水、米、根菜、冷蔵庫内のモノ、菓子

【職】パソコン

【住】寝袋、炬燵掛布団、灯油、カセットコンロ

【充】（なし）

【他】現金、通帳、印鑑、リュックサック

■ 避難時の心得 ■

『もしもの場合は、自分で考え、一人で逃げろ！』

『そのときには、パパもママも置いて逃げろ！』

『パパもママも精いっぱい逃げるから！』

『わかったかな？』

わが家の避難生活、6か月の歩み

- 3/14 避難準備
- 3/15 伊達市保原の体育館
- 3/16 会津若松市の知人宅
- 3/17 群馬県館林市の親戚宅
- 3/18～3/31 東京の親戚宅を転々
- 4/1～4/8 新潟県上越市の体育館(避難所)
- 4/9～8/31 上越市の教員住宅(避難所)
- 9/1～9/17 上越市の教員住宅(借上住宅)
- 9/18 帰宅

避難生活、「衣・食・住」はどうしたか？

【衣服】

- 移動中：購入 → 現金が必要
- 避難所：支援物資、洗濯機供用

【食事】

- 移動中：自腹 → 現金が必要
- 避難所：弁当・果物・飲料 → 偏食・飽き

【住居】

- 体育館
 - 畳、●布団、▲プライバシー(4世帯×8班)、▲銭湯
- 教員住宅(避難所)
 - 風呂、▲ガス、▲洗濯、●折畳卓、▲固定電話
- 教員住宅(借上住宅)
 - 風呂、●ガス、●家電セット、●布団、▲光熱費補助

避難生活、「医・職・充」はどうしたか？

【医療】

- 通院：医療費・薬代は無料
- 持病：保険証、処方箋

【就職】

- 収入：自営業(東電補償) → **現金が必要**
- 信用：確実な支払(自動引落)

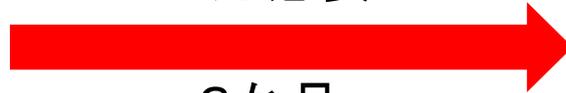
【充実】 子育て(息子高3・娘中3)

- 高校：県管轄、学力レベルで選択
- 中学：市(区)管轄、居住地で決定

避難生活、生活防衛資金はいくら必要か？



いくら必要？



3か月

- 5/24 40万円(義援金)
- 5/30 100万円(東電仮払い)
- 8/23 120万円(東電仮払い)
- 8/24 88万円(義援金)

【減少】食費・学費
【増加】衣類・雑貨・携帯通話
【同額】ガソリン・新聞

生活費：20万円/月 ⇒ 23万円【3万円増】

- 生活費=23万円×3か月=69万円
- 一時出費=15万円(テレビ、電子レンジ、ホットプレート)
- 合計=84万円

避難生活、生活防衛資金をどう管理するか？

特集記事(2007年9月)

最悪のケースとして
収入が途絶えたことを想定して
最低6か月の生活費を蓄えておく。

20万円 × 6ヵ月 = 120万円

現金 : 60万円
預金 : 60万円

The diagram shows the calculation '20万円 × 6ヵ月 = 120万円' on the left. Two red arrows originate from the '120万円' part, pointing to '現金 : 60万円' (Cash: 60 million yen) and '預金 : 60万円' (Savings: 60 million yen) on the right.

避難先で引き出し
避難先で記帳

A pink thought bubble with a red outline and three small circles leading up to it. Inside the bubble, the text reads '避難先で引き出し' (Withdraw at the evacuation site) and '避難先で記帳' (Record expenses at the evacuation site).

避難経験を活かす、これからの生活設計

いま私たちは『時代の変わり目』を生きている

●「生活設計」から「生活経営」へ●

作業

決められたコトを確実に実行する

管理

目標を最も効率的に実現する

経営

●各自が役割をこなす

●各自が成長する

チームワーク